

## 競 技 注 意 事 項 (加古川会場)

### 1 競技規則について

本記録会に適用する規則は、2021 年度日本陸上競技連盟競技規則および本競技会規定により行う。

### 2 練習について

- (1) 練習はサブトラックを使用し、係員の指示に従うこと。ただし、投てき練習は一切禁止する。
- (2) フィールド種目の練習は、最終招集完了後に競技役員の指示により競技場内で行う。

### 3 招集について

- (1) 招集所（1次招集）は、室内練習場に設ける。
- (2) 種目別の1次招集完了時刻と最終招集完了時刻は、プログラムの競技日程欄に記載している。
- (3) 招集の手順
  - ① 1次招集完了時刻までに招集所に掲示するエントリーリストに○印をつける。その際、アスリートビブス、スパイク・ランニングシューズの点検を受け、腰ナンバーカードを受け取る。なお、長距離種目の別ナンバーは最終招集時に配付する。
    - \* スパイクピンの長さー走高跳・やり投 12mm以内 その他 9mm以内
    - \* ランニングシューズのソールの最大の厚さ
      - 800m未満のトラック種目、三段跳を除くフィールド種目：20mm以内
      - 800m以上のトラック種目、三段跳：25mm以内
  - ② 最終招集完了時刻にトラック競技は各種目のスタート付近、フィールド競技は各種目の待機場所において点呼を行う。
  - ③ 点呼の代理人は認めない。ただし、2種目以上にわたって同時刻に出場する競技者は、あらかじめ本人が競技者係へ多種目同時出場届を提出し、併せて招集に来ることが出来ない種目の点呼（アスリートビブス・腰ナンバーカード・スパイク等の検査）を受けておくこと。
  - ④ 最終招集完了時刻に遅れた競技者は、出場出来ない。
  - ⑤ 当該種目を欠場する者は、あらかじめ欠場届を競技者係に提出すること。
    - \* 多種目同時出場届、欠場届は、招集所備え付け、またはホームページからプリントアウトした用紙を使用すること。

### 4 競技について

- (1) トラック競技
  - ① レーンは、プログラム記載番号順とする。
  - ② 競技運営上フィニッシュ地点で、男子 1500m=6 分、5000m=20 分、10000m=40 分、3000mSC=13 分、女子 1500m=7 分、3000m=15 分で競技を打ち切る場合がある。
- (2) 別ナンバーは、競技終了後フィニッシュ地点のナンバーカード係に返却すること。
- (3) フィールド競技
  - ① 試技順は、プログラム記載番号順とする。
  - ② 走高跳・棒高跳のバーの上げ方は、下記のとおりとする。

男子走高跳	1組	練習 1.50/1.70/1.80	1.55-1.60-1.65・・・1.85-1.88-1.91	以後3cmずつ
女子走高跳	1組	練習 1.10/1.35/1.55	1.15-1.20-1.25・・・1.55-1.58-1.61	以後3cmずつ
男子・女子 棒高跳		練習 1.80～4.50	1.90-2.00-2.10・・・	以後10cmずつ

### 5 競技用具について

- (1) やり・ポール以外は、主催者が用意したものを使用すること。
- (2) やりは検査を受けて使用できる。この場合共用となる。
  - 検査時刻 第1日(17日) 女子-11:20~11:40 男子-12:55~13:15
  - 検査場所 フィニッシュ地点側器具庫
- (3) 棒高跳用ポールは、跳躍審判員の点検を受け自己のポールを使用する。

### 6 その他

- (1) 記録証明書を希望する者は、1種目につき500円を添えて庶務係まで申し出ること。
- (2) ゴミは、各自で持ち帰ること。